

< 学校北～東通学路で見かけた昆虫 > 最後に昆虫類の紹介です。

擬態する虫たち



セイヨウアジサイの花蜜を吸ったり花粉を食べるヨツスジハナカミキリ：ハチに姿を似せて敵に食べられにくくなっているといわれます。

ヨウシュヤマゴボウの花蜜を吸うマメヒラタアブ：これもハチに似せて敵に食べられにくくなっているようです。



ジャガイモにツマグロキンバエ

これならハエの仲間と分かりそうですね。ただし腐肉などでなく花によくとまり、花粉などを食べるのが観察されています。眼の模様がおもしろい。

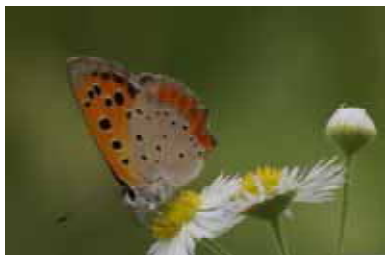
よく似た益虫と害虫



姿はよく似ていますが、左はヒメカメノコ TENTOU といい、植物に害を与えるアブラムシを食べてくれる益虫です。背中の星の数が少なく、ツヤツヤしている TENTOU ムシの仲間は、たいていは人の役に立つ TENTOU ムシのようです。

それに対し、背中の星の数が多く TENTOU ムシの仲間は作物を荒らす害虫が多いようで、右のオオニジュウヤホシ TENTOU はジャガイモの葉を食べていました。

小さいけれど色鮮やかな、よく見かけるチョウ



ヒメジョオンの花蜜を吸うベニシジミ：これまでルリシジミ、ゴイシシジミ、ヤマトシジミと、シジミチョウの仲間をいくつか紹介してきました。このベニシジミもそれらの仲間で、鮮やかな模様が目立ちますが、よく観察してみましょう。春のチョウの模様と夏のチョウの模様が少し違いますよ。